



平成29年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：櫻井治男・田井健治

分野：歴史・伝統文化・異文化、こども・子育て・教育・生涯・健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	『伊勢志摩百物語～名木・奇樹を訪ねる～』編集・刊行
実施期間	平成29年 5月 10日(水) ～ 平成 30年 2月 28日(水)
活動の目的と計画	学生が中心となり、伊勢志摩地域の名所・旧跡・文化資産・自然資産を取り上げ、その魅力を明らかにし、広く発信することを目的とする。これまでその成果を2冊の冊子にまとめてきたが、本年度はその後続編として、当該地域の巨樹・奇木・銘木とされるものを取り上げ、それらにまつわる歴史や物語を調べることで、学生の調査研究能力を高めるとともに、原稿の執筆・編集体験を通して、社会へ出てからも、そうした面での力量が発揮されることを期待する。また、対象となる木々について、本学が提携する伊勢志摩地域の自治体の企画・観光・文化財関係等の各部署の協力を得て情報を収集し、成果を地域へ還元することで、学生が本学の役割を自覚する機会となることを目指す。新たなメンバーを加えて実施にあたる。
活動内容 と 実績・成果	活動内容 本年度の主な活動内容は次の通りである。 ①勉強会の開催 図書館のラーニングcommonsを利用し、数回の勉強会と編集会議を開催。本学連携自治体より寄せられた情報並びに学生が独自に調べ関心を持った樹木について調査研究の絞り込みを行ない、それぞれ資料収集などを実施した。 ②現地調査と地域探訪 平成29年7月23日(日)にメンバーで合同調査実施(伊勢市・明和町・志摩市)。各人の担当箇所については随時個別調査を実施。 ③小冊子の編集刊行と配布 河原正知(神道学科2年)が編集委員長をつとめ、予定通り冊子を刊行し、寄贈・配布を随時進めた。
	実績・成果 ①成果品 『伊勢志摩百物語～名木・奇樹を訪ねる～』(平成30年3月25日)1500部刊行。 ②今回のプロジェクトを進めるにあたり、参加者を募ったところ新たに1年生2名、2年生1名の参加があり、学外での調査等を通じてこれまで知らなかった伊勢志摩地域の歴史・文化の魅力発見につながった。 ③本学が進めている「地(知)の拠点整備事情(大学COC事業)」において連携している3市5町の協力により諸情報を得られたこと。
参加者	申請者も含めて、氏名、所属(部局、職名)を明記してください。 櫻井治男(大学院特別教授)・田井健治(文学部神道学科助手)・朝倉正樹(神道学科1年)・掛川拓海(同)・河原正知(神道学科2年)・泰道華澄(国史学科2年)・澄川秀範(神道学科4年)・足立涼(大学院博士前期課程神道学専攻1年)・佐伯篤史(同)・新田恵三(同)・工藤超(同国文学専攻1年)
今後の活動	未定
記録	  

平成29年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：中條 敦仁

分野：歴史・伝統文化・異文化、**こども**・子育て、**教育**・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	伊勢市内を中心とした連携地域の小学校における国語の出前授業及びイベントブース出展
実施期間	平成29年 6月 1日（木）～平成30年 2月28日（水）
活動の目的と計画	<p>○本活動は、以下に示す学生主体の活動を通して、地域の教育に貢献することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市内の小学校を中心に地域連携市町の小学校に対する国語の出前講座 ・市内イベント（いせトピア・子どもわくわく体験フェスティバル等）へのブース出展 <p>○活動計画 明倫小学校において7月上旬、9月下旬、10月中旬に3講座を順次実施予定。その他小学校については、日程調整中。また、わくわくフェスティバルは8月上旬実施。</p>
活動内容 と 実績・成果	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢市内小学校において、①3・4年対象の作文講座、②3・4年対象の群読講座、③5・6年生対象の朗読講座の3講座の出前授業を実施した。 ○いせトピアにおいて「子どもわくわく体験フェスティバル」にブースを出展し、地域のこども向けに絵本の読み聞かせや紙芝居の上演をおこなった。 ○尾鷲市立図書館のイベントである「青空図書館」に、「2コマ絵本作成」「折り紙でしおり作り」のブースを出展した。 <p>実績・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出前授業は、児童の国語に対する興味・関心を喚起する、きっかけを作ることを主眼におこなったが、アンケート結果や児童の反応からも、概ね受け入れられたといえる。また、朗読講座については、以後朗読をするのが楽しくなったと児童が言っていたことを担当の先生から聞くことができた。今後、さらなる改善をし、よりよい授業の提供をしていきたい。 ○「子どもわくわく体験フェスティバル」は、絵本の読み聞かせを中心にこどもが楽しいひとときを過ごせたようで、保護者の方やいせトピアの方から好評をいただいた。 ○「青空図書館」は、制作を通してこどもと触れ合うことができ、次年度の参加依頼もいただくことができた。
参加者	<p>申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。</p> <p>中條敦仁（教育学部・准教授）、稲森千晶、岩田瞳、植前奈々子、岡田知城、中川英由香、西祐樹、樋口敬一、福島萌、水谷愛奈、安江政輝、横山優（以上、教育学部4年生）</p> <p>奥田紗成、倉田朋歌、瀬木裕真、田岡冨、田中文人、中島杏優、西川加奈恵、花井厚稀、原舞、久田祥太、牧野早紀、山口一和、山本純暉（以上、教育学部3年生）</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○出前授業については、次年度も伊勢市教育委員会と連携し、継続していく予定である。本年度反省会で出た問題点・課題をもとに現在継続的に改善を図っている。 ○「子どもわくわく体験フェスティバル」「青空図書館」への出展依頼が正式にあれば、参加予定である。依頼に備えて、他の手法も考案していきたい。
記録	